

種名	<u>ナガコガネグモ</u> <u>Argiope bruennichii</u> 
分類	クモ目コガネグモ科
形態的な特徴	体長 20 ～ 25 mm。腹部はやや長く、細い黄と黒の多数の横縞(よこじま)がある。網は垂直円網で、中央にジグザグの「隠れ帯(かくれおび)」をつける。成長とともに隠れ帯の形は変わる。つまり、初めは数本並列しているが、成熟すると長い1本になる。
分布	本州・四国・九州に分布する。
繁殖行動	9月初めに壺(つぼ)形の卵囊(らんのう)をつくる。
生息場所	夏の終わりに成熟し、水田の畔(あぜ)などに多くみられる。
食性	
生息環境への配慮	
その他	
引用文献：Y a h o o 百科事典を改変	